



ほけんだより 9月

令和 7 年 9 月 白鳥保育園 看護師

ご家庭での事故やケガへの注意は万全でしょうか？

子ども達は好奇心旺盛で怖いもの知らず。危険を予測する力はまだ十分でないため、大人が安全な環境を整えてあげましょう。

転んで、落ちて…… 頭を打った ときのケア

すぐ病院に！



一つでも当てはまる場合

- 繰り返し吐く
- 意識がもうろうとして、呼びかけても反応しない
- 手足の動きがいつもとちがう、左右差がある
- 目の瞳孔の大きさが左右でちがう
- 打ったところが陥没している、出血がひどい

子どもは転んだり落ちたりして、頭を打つことがよくあります。そのときに怖いのが、頭蓋骨内でじわじわと出血して、時間差で症状がでることです。頭を打ったら、注意深く様子を見てあげましょう。

左の項目にあてはまらないときは次の点を守って、数日間は注意して様子を見ましょう。

- 当日はお風呂に入らず、静かに過ごさせる
- 頭蓋内で出血していた場合、入浴して血行がよくなることで症状が進みます。
- 症状が出てきたらすぐに受診する
- 夜寝ているときの様子もチェックする

睡眠中に意識障害を起こす可能性もあるので、寝返りを打つか、声をかけたら反応するかなどを見ます。

- 少しずつ顔色が悪くなる
- 吐き気が出る、吐く
- 手足の動きがおかしい、ピクピクする
- 意識を失う、呼びかけても起きない

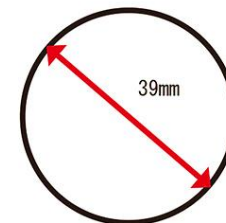


家の中の事故を防ぎましょう

0～6 歳の子どもの事故のおよそ 40%は家の中で起きています。

家の中には事故の危険性が高いものや状況が、実はたくさんあります。

家の中で安全・安心に過ごせるように、今一度チェックをしてみましょう。



小さいものはしっかり管理

3 歳の子どもの口の大きさは約 4 cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したすきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

ベランダ



台などによって手すりを超える事故が、3 歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。